

# APAQG名古屋会議について

## 1. はじめに

2016年3月9日～11日に名古屋市にて、APAQG (Asia-Pacific Aerospace Quality Group) 名古屋会議が開催された。APAQGは国際航空宇宙品質グループ(IAQG)のアジア・太平洋地域組織であり、JAQG (Japanese Aerospace Quality Group (航空宇宙品質センター)) もその一員としてIAQGの活動戦略目標に対応したAPAQG内の活動方針決定やIAQGへの意見吸い上げに対してリーダーシップを発揮している。以下に今回の会議について報告する。

## 2. 会議の概要

(1) 今回のAPAQG名古屋会議には、アジア太平洋地域の航空宇宙関係27組織から52名が参加した。今回のAPAQG会議では、新たに韓国の1社を会員メンバーとして、シンガポールの1社、タイの1社を準会員メンバーとして迎えることができ、APAQG活動を拡大する有意義な会議であった。

(2) 評議会ではIAQGの最新の活動状況（規格要求、国際航空宇宙認証制度管理、製品及びサプライチェーン改善、要員能力、国際スペースフォーラム、関係強化戦略）についての情報の共有を図るとともに、活動方針を確認／承認した。

(3) 2018年秋のIAQG会議を韓国で開催するようIAQGに提案することなど、次回IAQGシンガポール会議に向けてAPAQGとしての意見集約を図った。又、この評議会と併催されたスペースフォーラム会議では、APAQG内の情報共有、意見調整及びIAQGへの対応協議などが行われ、次回IAQGシ

ンガポール会議に向けて意見集約を図ることができた。

APAQG名古屋会議の参加国、参加組織は以下の通りである。

日本：MHI、KHI、FHI、IHI、MHIAEL、  
NEC、IHIエアロスペース、MELCO、  
HIREC、海外物産、JAXA、SJAC

中国：COMAC、Boeing Tianjin Composites

韓国：KAI、KAL、Hanwha Techwin、  
LIG Nex1、LRQA、KAIA

台湾：AIDC

シンガポール：DSO National Laboratories、  
Liebherr-Singapore Pte Ltd、UTC、  
SAFRAN ELECTRONICS ASIA Pte Ltd.

フィリピン：Moog

タイ：Triumph Aviation Services Asia

## 3. 評議会 会議内容

### (1) 主要な審議結果

評議会での主要な審議結果は以下の通りである。

- ・韓国のLIG Nex1社がAPAQG会員メンバーとして承認された。
- ・シンガポールのSAFRAN ELECTRONICS ASIA社、タイのTriumph Aviation Services Asia社がAPAQG準会員メンバーとして承認された。
- ・APAQGの会計報告に関し、2015年決算案が承認された。
- ・2016年秋のAPAQG会議は、9月8日～9日に中国（珠海市）で開催することが確認された。
- ・2017年春のAPAQG会議開催国について、フィリピン（マニラ市）開催が確定した。



評議会の様子 (1/2)



評議会の様子 (2/2)



評議会後の集合写真 (APAQGメンバー)

- ・2018年秋のIAQG会議開催国について、韓国での開催を提案することを決定した。

## (2) 各国のステータス報告

評議会での各国のステータス報告は以下の通りである。

日本：JAQG幹事長（小出 芳夫(IHI) (敬称略))より、JAQG活動状況が報告された。

JIS Q 9100規格の認証取得会社は611社、JAQGメンバーは389社（2016年2月末時点）。

2015年度の活動としては、

- ・2013-2018年の活動計画に基づき、JAQG活動の促進を図った
  - ・強固なQMS構築に関しては、日本起案の6ガイダンス文書のうち、2文書をIAQG SCMHとして発行、4文書の発行準備を進めている
  - ・ステークホルダーとの協力関係を強化、継続している
- との報告があった。



小出JAQG幹事長 (IHI)

中国：Mr.Jiao Liang (COMAC) からCAQG (China Aerospace Quality Group) の活動状況が報告された。

CAQGは正会員11社、一般会員は57社

で前回の釜山会議からメンバーの増加はないが、幾つかの航空宇宙関連会社に働きかけ、CAQG活動の拡大を図っている。CAQGの2015年度の活動成果としては、

- ・CAQG憲章の改定
- ・ウェブサイトの更新
- ・規格(9101、9131、9116)の翻訳、全てのSCMH文書の翻訳完了、93点のNadcap ACチェックリスト翻訳発行
- ・2015年9月に、COMAC、AVIC、北京航空航天大学との共催で、品質フォーラムを開催

との報告があった。



Mr. Jiao Liang (COMAC)

韓国：Mr. Min Seok Jung (KAI) より、自国企業の認証は、主にAS9100/9110/9120によっており、韓国のAS9100認証取得会社は287社（半年で11社増加）、また、AS9110とAS9120認証取得会社はそれぞれ19社、7社となっていることが報告された。KAIA（韓国航空宇宙工業会）のもとKAQG（Korea Aerospace Quality Group）を、2016年2月に設立したことが報告され、2018年秋のIAQG会議の開催地として韓国が立候補する意向が表明された。



Mr. Min Seok Jung (KAI)



Mr. Ing Fuh Kuo (AIDC)

シンガポール：Mr. Jeffrey Ho (Rolls Royce)より、シンガポール国内の認証状況は、AS9100認証取得会社は113社、AS9110とAS9120認証取得会社はそれぞれ16社、37社で伸びが鈍化していること、SAQG (Singapore Aerospace Quality Group) は、2015年11月に第3回目の会議を開催したことが報告された。



Mr. Jeffrey Ho (Rolls Royce)

台湾：Mr. Ing Fuh Kuo (AIDC)より、台湾航空業界は大きく発展しており、TAQG (Taiwan Aerospace Quality Group) 設立を目標に、APAQG活動に積極的に参加しているとの報告がなされた。

### (3) IAQG戦略検討ワーキンググループ傘下の分科会の活動報告

評議会では、各分科会の個別報告が行われた。( )内は報告者(敬称略)である。

このセッションはIAQG会議に参加していないAPAQGメンバーに最新のIAQGの情報を提供し、IAQG活動の成果を共有するという側面を持っている。今回は、2015年10月に開催されたIAQGマドリッド会議の結果及びその後の進捗を中心に報告がなされた。

#### －規格要求分科会(白井 達矢 (KHI))

IAQG各規格の現況に関する概略説明が行われた。主な規格の改定状況については、それぞれの規格チームのSDR (Sector Document Representative)、チームメンバーにより報告がなされた。

- ・ 9100規格改正状況  
(河本 正博9100 SDR (MHI))
- ・ 9110規格改正状況  
(David Tan 9110 SDR (UTC))
- ・ 9120規格改正状況  
(Wang Hongyan 9120 SDR (COMAC))
- ・ 9115規格改正状況  
(斎藤 敏子9115チームメンバー(HIREC))
- ・ 9146規格改正状況  
(首藤 寛9146チームメンバー (MHI))



白井氏 (KHI)



河本氏 (MHI)



Mr. David Tan (UTC)



Ms. Wang Hongyan (COMAC)



斎藤氏 (HIREC)



首藤氏 (MHI)

－OPMTチームの活動報告/9100:2016規格への移行計画 (安永 芳文IAQG OPMTメンバー (KHI))

IAQG OPMTチームの活動状況、9100/9110/9120:2016規格の移行計画、新OASIS (Online Aerospace Supplier Information System) データベース開発状況の報告が

なされた。

－製品及びサプライチェーン分科会 (渡邊靖IAQG PSCIチームメンバー (MHI)) IAQG PSCI (Product & Supply Chain Improvement) チームの活動状況が報告された。



安永氏 (KHI)



渡邊氏 (MHI)

- 要員能力分科会（朝倉 崇顕IAQG PCAP チームメンバー（IHI））

IAQG PCAP（People CAPability）チームの活動状況及び、2015年秋のIAQGマドリッド会議で、IAQG PCAPチームの活動停止、ヒューマンファクターズ白書についてはPSCIチームに移管するとの決定がなされたことが報告された。



朝倉氏（IHI）

- 国際スペースフォーラム（柳川 祐輝IAQG スペースフォーラムメンバー（MHI））

IAQGスペースフォーラムの活動状況、2016年からの3カ年計画がIAQGマドリッド会議で承認されたこと、インドネシアで開催されたAPRSAF（the Asia-pacific



柳川氏（MHI）

Regional Space Agency Forum)）に参加し、IAQG活動のプロモーションを行ったこと、3月9日にAPAQGスペースフォーラムを開催し、アジア・太平洋地域での情報交換と交流を図ったことが報告された。

- 防衛当局関係強化分科会（河本 正博 IAQG Defense Teamメンバー（MHI））

IAQGディフェンスチームの活動状況が報告された。



河本氏（MHI）

- カスタマーサポート／退役航空機の管理（Ricky Au（Liebherr- Singapore））

現状、製品納入後の運用期間中のカスタ



Mr. Ricky Au（Liebherr- Singapore）

マーサーサービスに関し、一般的なガイダンスが存在せず、その必要性が認識されていること、及び、今後退役航空機の大幅な増加/中古部品の流通等が見込まれるため、IAQGがイニシアチブをとり、規格制定が必要であるとの報告がなされた。

#### (4) その他のトピックスの紹介

以下のトピックスが紹介された。

- インドバンガロール市で開催したAPAQGセミナー（河本 正博9100SDR、寺境 弘之 APAQGセクターリーダー（MHI））  
インドバンガロール市で、APAQGセミナー（23機関／45名の参加）を開催しAPAQG活動に関し活発な議論がなされたこと、及びSAITI（Society of Indian Aerospace Technologies）を事務局とし、InAQG（Indian Aerospace Quality Group）を設立するとの表明がなされたとの報告があった。



寺境氏（MHI）

- IAQG翻訳文書に対する著作権について（渡邊 靖（MHI））  
IAQG翻訳文書に対する著作権についての調査結果、今後の取り組みについての報告がなされた。



渡邊氏（MHI）

- APAQG手順文書の制定について（前畑 貴芳（SJAC）、服部 洋彦（MHI））  
APAQG手順文書の策定に関する指針が示され、APAQGメンバーに対して意見募集を行った。



服部氏（MHI）

- 新APAQGメンバー紹介  
韓国のLIG Nex1がAPAQG会員メンバーとして承認され、シンガポールのSAFRAN ELECTRONICS ASIA、タイのTriumph Aviation Services AsiaがAPAQG準会員メンバーとして承認された。
- 2016年春IAQGシンガポール会議についての紹介

-2016年秋APAQG珠海会議についての紹介

#### 4. おわりに

IAQGは、世界共通の航空宇宙品質マネジメントシステム規格(9100規格)を初めとする関連規格の制定に加え、“On Time, On-Quality Delivery (OTOQD)”を効率的に達成することを目標に活動を展開している。

アジア太平洋地域にIAQG活動を広めかつアジア太平洋地域の意見をIAQGに反映させ

るためには、APAQG活動を活発化させ、多くのアジア太平洋地域のメンバーが継続的にAPAQG会議並びにIAQG会議に参加することが重要である。中国/CAQG、シンガポール/SAQG、に続き韓国/KAQGが設立され、アジア各国の活動も活性化して来ている。

今後もJAQGは、APAQGのリーダーとしてAPAQG活動を牽引し、アジア・太平洋地区の意見としてIAQGに提言する活動を推進する所存である。

〔(一社)日本航空宇宙工業会 航空宇宙品質センター 事務局 部長 前畑 貴芳〕